

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|----|------------|
| ○事業所名 | edu.base宇宿 | | |
| ○保護者評価実施期間 | R7年 1月 11日 | | R7年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 26 | (回答者数) 17 |
| ○従業者評価実施期間 | R7年 1月 15日 | | R7年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年 2月 1日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 言葉に対する支援を行うことができている。 | ・個別活動の時間を使って専門職がトレーニングを実施している。 ・専門職が関わる中で気がついたことを職員間で共有する体制を作ることができている。 | ・検査等を保護者様の理解を得て実施することができるようにする。 |
| 2 | 児童の見立てをきちんと立てて支援をすることができている。 | ・職員間で児童情報の共有を定期的実施して共通認識を作ることができている。 ・児童の行動の背景などを予測して共有することができている。 | ・普段の支援の中で得た情報をまとめ、常に共有をすることができるようにしていく。 ・職員全員が共通認識を持ち支援ができるよう今後も情報共有を充実させていく。 |
| 3 | 児童が楽しく通うことができている。 | ・活動内容が固定化しないように計画を行っている。 ・活動が難しすぎないように難易度を調整して実施している。 | ・季節に応じたイベントなどを充実させていく。 ・活動内容の幅を広げ、新鮮な気持ちで活動ができるように工夫をする。 ・余暇時間を楽しく過ごすことができるよう環境を整える。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 地域との交流や、保護者同士の交流機会が少ない。 | ・地域との関わりがこれまであまりなく、交流の機会がない。 ・交流の機会を主催することが難しい。 ・自宅へ送迎を行っていることで保護者同士が会う機会がほとんどない。 | ・地域の学校や児童クラブとの関わりを利用して児童を通して深めていく。 |
| 2 | 家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会を設けることができていない。 | 情報共有や心療内科との連携を図った案内等を行うことができているが、研修や家族支援プログラムについては機会が作れず実施できていない。 | 職員のスキルアップを図り家族支援に対応できるようにすることと同時に、研修や家族支援の場を企画することができるようにしていく。 |
| 3 | こどもの安全確保、虐待防止等の取り組みについて職員間で共有はできているが、保護者様へ周知する機会を作ることができていない。 | 事業所での取り組みについて保護者様へ周知するタイミングがあまりなく、実施することができていない。 | 保護者会などの企画を行い、会の中で必要な事項については周知が行えるように体制を整えていく必要がある。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 edu.base宇宿

公表日 年月日

利用児童数 26

回収数 17

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|--|----|---------------|-----|--------------------------|---------------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 2 | ・もう少し広いといいかなと思います | ・事業所内を整理整頓したり、子どもたちの動線を意識した配置にすることで活動スペースが広く感じられるよう工夫する。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 4 | ・心理士が配置されたいと思う ・一人一人に目配りされていると感じます | ・専門職の配置については今後も検討をしていく。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 14 | 1 | 0 | 2 | ・各部屋の繋がりを感じます | ・引き続き分かりやすい環境を整備する。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | ・整理整頓されていると思います | ・今後も整理整頓を定期的に行い、心地よく過ごすことができるようにする。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 15 | 1 | 0 | 1 | ・息子の様子を細かく観察ありがとうございます | ・今後もこどものことを十分に理解できるよう細かく様子を見て職員間で共有を行っていく。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | ・細かく計画立案されていると思います | ・今後も計画に基づいてそれぞれの課題にアプローチする時間を意識的に設けていく。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | ・具体的に分かりやすく書かれています | ・計画作成の際には職員間で見立てを共有しながらの作成に努めていく。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 16 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 1 | 1 | 6 | ・児童クラブや、町内会の取り組みに参加しています | ・今後は児童クラブ等と関わりを持つことができるよう連携を試みる。 | |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 8 | 4 | 1 | 4 | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。 | 15 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 13 | 4 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|---------|--|--|---|---|----|---|---|
| 保護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 15 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 8 | 2 | 1 | 6 | | |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 16 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 16 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 15 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 8 | 3 | 0 | 6 | |
| 24 | | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | 1 | 1 | 10 | | |
| 25 | | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 2 | | |
| 26 | | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 3 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 16 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 15 | 2 | 0 | 0 | ・その時々本人の気分により左右されるので。 ・追加で利用するぐらい気に入っています。 | ・子どもが楽しみを持って安定的に通うことができるよう支援プログラムに工夫を加えていく。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 16 | 1 | 0 | 0 | ・言葉に関する支援が定期的にあるとありがたいです。まだ ひらがなのきとちのちがいが完全に分かっていません。 | ・今後とも言語面の支援を継続的に実施していく。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | edu.base宇宿 | | | | 公表日 | 2025年 2月 1日 |
|---------|------------|---|-----------------------|-----------------------|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 児童がいない時間に環境を整え、周りに危険なものはないか安全面に気をつけている。 | 児童が使いたいものがある場合は職員に伝えてからルールを守って活動できるように意識していく。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 児童の特性に合わせた人員配置ができています。 人員を確保するために休みが被らないようスタッフ同士連携を図っている。 | 活動前に個別に支援する児童等、職員の配置を確認し、未然に怪我やトラブルが防げるよう気をつけていきたい。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | <input type="radio"/> | | 資格情報を用いることにより、児童に分かりやすい環境づくりを行っている。段差にはスロープを設置するなどバリアフリー化を心がけている。 | 次の活動への導線を考えながら、今から何をするのか視覚で理解できるようカードなども作っていきたい。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | 活動に応じてスペースの確保を行い、他児との距離感や職員配置を考えながら配置している。 | 児童の行動を予測して職員の立ち位置を意識したり、職員間での声掛けをしながら全体の状況が把握できるようにしていきたい。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | 静かな環境で集中して取り組みたい児童に関しては、職員と一緒に個室の利用ができるようにしている。 | 個室に職員が入る際は、周りの状況も考え、各場所に職員が配置されている状態を確認してから入るようにする。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | 職員間で1日の計画を共有し、活動後は児童の気になる点など話し合う時間を設けている。 | 職員同士で児童情報を共有することで全員が同じ目線で1人ひとりに関われるようにし、安心して過ごせる環境を作ってきたい。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 保護者との連絡ツールを使い、回答の呼びかけを行い、より多くの意見を頂き、改善に繋がれるようにしている。 | 今回頂いた意見もしっかりと職員で確認し、改善へと繋げていきたい。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 職員会議の時間を設け、その都度意見交換を行うようにしている。また、上げられた意見を元に改善できるようにしている。 | 全体の場で言いにくい場合もあるかもしれないので、個別に話をしていく時間も設けていきたい。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | <input type="radio"/> | まだ外部評価ができていない。常に環境を整え、書類整理などもできていない部分もあるため、分担しながら行っていきたい。 | 今後、外部評価を行い、より良い支援に繋がるよう業務改善につなげていきたい。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | 全体会議の際に研修を行い、研修の参加率を上げる工夫をしている。 | 外部研修への積極的参加 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | <input type="radio"/> | | ケース会議を通して、児童の問題点やニーズを話し合い適切な支援プログラムの作成を心がけている。 | 支援プログラムを更に充実させることができるよう普段の支援の中で児童の見立てを詳細に行っていく。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | 保護者や各種関係機関との情報共有を行っている。 | 保護者との連携を行いながらニーズや課題の変容があったときに迅速に対応できるようにしていく。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 計画の作成時以外に、その日の活動の振り返りを通して、児童の情報を共有し職員全体が共通理解をもてるよう工夫をしている。 | 普段の振り返りなどを通して共通認識を図ることができるよう今後も取り組んでいく。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | それぞれの児童に統一した支援を行うことができるよう話し合いを行っている。 | 常に職員が計画を見ることができるようになっており、計画の確認や共有を今後も行っていく。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | 児童ごとに標準化されたアセスメントシート・行動分析表を使用し確認できるようにしている。 | アセスメントツールを全職員が使用できるよう研修や伝達を定期的に行なっていく。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|-----------------------------------|--|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | ガイドラインの趣旨に沿って計画書作成を行っている。 | 地域支援について、今以上に多くの支援方法を考え取り入れていく。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 数名のチームで1月の活動計画を立案している。毎月新しい活動を数個考えて提案も行っている。 | より多くの活動プログラムの立案ができるよう、話し合いの時間を多く設ける。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 活動内容を職員間で話し合い、その日の児童数・メンバーによって内容を決めている。 | イベントの企画等を今後も充実させる。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 児童に合わせて、個別の課題や前回通所時の振り返りを行っている。 | 今後も課題となる部分は、職員間で共有し支援計画に組み込んでいきたい。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | ミーティング内で活動内容・前日の振り返り、個別で対応が必要な児童について等、支援について話を行っている。 | 個別での支援が必要な利用児童に対しての確認をしっかりと行っていきたい。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援終了後に話し合いの場を設けてその日の支援の反省などを行っている。 | チャット等に話し合いの内容を記録し職員間で情報共有が行えるようにしていきたい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | ミーティング時に活動時の個々の様子を振り返りを行っている。 | 記録の統一性を図り、検証・改善に繋げていきたい。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 管理者がモニタリングや児童に合わせて面談を随時行っている。 | 各職員が面談の内容を把握して支援につなげることができるよう声掛けを行っている。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | ○ | | 4つの基本活動をもとに活動を設定することができている。 | 課題と目標が明確に把握できるようにし、疑問点などはその場で聞ける環境を整えていきたい。 また、地域との交流については今後も充実を図る必要がある。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 自由時間等を設けており、利用児童が好きな活動を行えるようにしている。 | 時間を有効活用できるよう、環境を整えるようにしていきたい。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 管理者や利用児童の担当者が参画している。 | 参画の前日までに各職員から情報を集めたり、話し合いをしたりする時間を今後も作っていく。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 協力医療機関と連携して、子どもたちが病院受診を必要とする際に受診することができる体制を整えている。 | 今後も情報共有を図れるようにしていきたい。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 学校との下校時刻の確認行事予定の確認も出来ておりトラブル発生時も適切に対応できている。 | 引き続き適切に対応できる体制を整えておく。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 就学前の園と関係を作ることができておらず児童によっては情報を得ることができていないことがある。 | 保育所などへの同行を行い連携を図っていく。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 現状、該当の児童なし。 | 学校を卒業する児童がでてくる場合に備えて支援内容の共有ができる体制を整えていく。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 担当者会議等で情報共有を図ったりして支援に繋げている。 | 研修を受ける機会を設けていくようにし地域や児童発達センターなどとの連携が図れるようにしていきたい。 |
| 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | 児童クラブとは送迎の際などに子どもの様子などを共有したりしている。 | 地域との交流をどのように増やしていくかを考えていく。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|--|---|---|--|
| | 33 | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | | | 協議会に参加する時間を作ることができていない状況にある。 | 自立支援協議会等の参加を踏まえた情報収集を行っている。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | | ○ | 送迎の際などに子どもの様子など共有するようにしている | 今後も共有できる機会を増やしていく。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | 面談やモニタリング等では支援方法などの情報共有は行っているが、研修などは行うことが出来ていない | 家庭支援プログラムを学ぶ機会をもうける。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | ○ | 契約時にしっかりと説明を行っている。 | 今後も丁寧に利用者負担額等説明を行っている。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | | ○ | こどもやご家族の意向の確認は、面接時の重要事項として丁寧に確認している。 | 保護者対応については、研修等を通じてスキルアップしていく。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | | ○ | ご家族の同意は必須事項として遂行している。 | 保護者対応については、研修等を通じてスキルアップしていく。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | | ○ | ご家族からの相談があった際には事業所内でミーティングを行い、日々の子供の様子を共有した上で、丁寧に応じている。 | 保護者対応については、研修等を通じてスキルアップしていく。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | 来年度の予定月を決定しており、既に実施している他事業所の様子を参考に予定である。 | 保護者会については今後の課題として検討中である。また、きょうだい交流の場も今後検討していきたい。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | | ○ | 保護者様からの苦情があった際には迅速に対応している。また、保護者様の希望に添えるようお伝えし、職員にも早急に周知している。 | 保護者対応については、研修等を通じてスキルアップしていく。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | | ○ | HPやSNSを活用し、毎日の子供の様子を伝えている。 | SNS内での表現の仕方など、今後も工夫していくこととする。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | | ○ | 漏洩にあたることはないか、常に意識して業務を行っている。 | 社内研修の内容に沿って再度確認し、取り扱いの環境を整えていく。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | | ○ | 事業所内では合理的配慮を意識して子どもに対応している。 | 保護者対応については、今後も研修等を通じてスキルアップしていきたい。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | 合同の運動会等では、保護者を招待して全員参加していただけるよう工夫している。 | ・ 今後は地域に開かれた行事を開催できるように検討を行う。 |
| 非 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | | ○ | 各種マニュアルを策定しており、法定の研修・訓練を行っている。 | 保護者様への周知や児童がいる状況での訓練を今後行っていきたい。 |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | | ○ | BCPの作成、定期的な訓練を計画・実施を行っている。 | 児童参加型の避難訓練の実施機会を増やしていきたい。また、職員においても様々な状況に対応することができるよう体制を整えていく。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | | ○ | 利用時のアセスメントで持病や服薬の状況を確認している。 | 医師の指示書を保護者様より共有を受けることができていない状況にある。家庭との連携を高めて、アレルギーのある児童に関しては早急に指示書を共有してもらう必要がある。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | ○ | アレルギーの有無については把握することができている。 | 医師の指示書を保護者様より共有を受けることができていない状況にある。家庭との連携を高めて、アレルギーのある児童に関しては早急に指示書を共有してもらう必要がある。 |

| | | | | | | |
|--------|----|--|-----------------------|-----------------------|-------------------------------------|--|
| 常時等の対応 | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 実施できている。 | 職員間での共通認識を今後も図っていく。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | <input type="radio"/> | 子どもの安全確保について十分に検討ができている。 | 家族等の通知、家族との連携について課題が残るため、今後取り組めるようにしていく。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | <input type="radio"/> | | 事業所内で共有、会議ができている。 | 今後もヒヤリハットを共有して支援の向上に努める。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | <input type="radio"/> | | 虐待防止についての研修を定期的に実施し、全員参加することができている。 | 研修だけでなく、普段の支援の中で都度振り返りながら虐待を防止する雰囲気を作る。 |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | <input type="radio"/> | | 身体拘束について組織的に基準を設け、研修を行うことができている。 | 保護者への周知、説明を今後も行っていく。 |